

港南区 元気な地域づくり推進フォーラム 開催

平成27年3月14日に開催した港南区元気な地域づくり推進フォーラムでは、地域で活動する皆さんから事例発表が行われ、各地区の取組を共有しました。「見守り・支えあいの取組」では、3事例を発表いただきました。

地域活動事例発表 ●見守り・支えあいの取組●

ひのみなみ見守りネット

見守り活動のゆるやかなつながりづくり

日野南地区では、様々な見守り活動が行われています。「ひのみなみ見守りネット」では、異変を発見した場合に連絡する仕組みを明確にし、地域の商店などに協力を呼びかけ、より重層的な見守りを行おうとする取組です。協力店舗には日野南小学校の生徒がデザインした「見守りステッカー」を渡し、地域にやさしいお店としても地域に発信する機会となっています。見守り活動を行う団体や商店などがゆるやかにつながり、地域全体での見守り活動を進めながら、誰もが安心して安全に暮らせる地域づくりを目指しています。



第3期 港南区地域福祉保健計画に向けて



平成28年度から始まる第3期港南区地域福祉保健計画の策定に向けたパネルを展示。

港南台かもめ団地「かもめカフェ」

大切にしていること 「楽しい!負担がない!多世代!お得!」

港南台かもめ団地は、乳幼児のいる世帯や高齢者の一人暮らしの方、外国人の方も多く住んでいます。転入転出が多く、団地内にどんな人が住んでいるか把握しづらい現状があり、住民同士の顔の見える関係づくり、地域活動の担い手発掘を目指し、「かもめカフェ」は発足しました。企画する側も楽しく、できることをやるというスタンスで、また、ボランティアも加わり活動を継続しています。手づくりケーキや手づくり看板でアットホームな雰囲気を演出し、子ども向けイベントやケアプラザ・地域の方による生演奏、また港南福祉ホームの出店もあり、老若男女誰でも気軽に立ち寄れる場になっています。



未来に咲かせるひまわりのタネ



「ひまわりのタネカード」を配布し、「こんな港南区にしたい」を書いてもらいました。たくさんの夢・希望が集まりました。

芹が谷地区福祉ネットワーク「ボランティア交流会」

ボランティア同士の顔合わせ

芹が谷地区では、6つの自治会・町内会それぞれに福祉ネットワークが組織されています。福祉ネットワークの代表者同士では定例会がありますが、ボランティア同士の交流も進めようと、楽しく顔合わせができる交流会の開催を決めました。自分たちの企画だからと、ケアプラザなどと協力しつつも、打合せや準備は福祉ネットワーク代表者だけで進めました。当日は各地区の活動紹介や互いに知り合うための名刺交換など、ボランティア同士の交流の第一歩となりました。



●港南区 元気な地域づくり推進フォーラム とは●

区内で行われている様々な地域活動を皆さんで共有する場となっています。今回で4回目の開催になります。

今回のフォーラムでは、地域活動の事例発表として、見守り・支えあいの取組のほか、防災・減災の取組4事例、地域の魅力づくりと担い手確保の取組3事例などの発表がありました。また、協働による地域づくりの方向性の共有として、港南区連合町内会長連絡協議会藤田会長から、27年度地域で取り組む重点テーマとして ①防災・減災、②見守り・支えあい、③地域の魅力づくりと地域活動の担い手確保、④健康づくりのテーマ発表があり、引き続き、協働による地域づくりを進め、次代を担う子どもたちに『ふるさと港南』を引き継いでいきましょう!との宣言がありました。



会場では、地区別意見交換会や社会福祉大会などのパネル展示も行われました。

ひまわりのわ



ウォーキング推進! 合同ウォークイベント

3月8日(日)に、保健活動推進委員会、食生活等改善推進委員会、青少年指導員協議会、スポーツ推進委員連絡協議会合同のウォークイベントが開催されました。

当日は、8コースを計430名がウォーキング。小学生のお孫さんと一緒に歩かれる方もいるなど、あらゆる年代の方が梅の花を見たり、おしゃべりをしたりしながら、それぞれのペースで楽しく歩きました。

ゴールでは、食生活等改善推進員と保健活動推進員の皆さん手づくりのおいしい豚汁をみんないただきました。

皆さんも春の花咲く区内をぜひ歩いてみませんか。



第34回 港南区社会福祉大会

平成27年2月28日 ウィング横浜

福祉功労者の表彰と、地域活動発表、講演が行われました。

第一部 表彰式典

長年、福祉活動やボランティア活動に携わってきた福祉功労者(36名)、福祉保健活動団体(1団体)が表彰されました。

表彰式典の様子



会場内展示の様子



港南区協
マスコットキャラクター
はむたん

第二部 地域活動発表・講演



地域訓練会 なすな会

昭和50年に区内で初めての地域訓練会として発足。主に知的障害のある子どもたちの習字やプール、音楽療法などの活動の場であるとともに、家族に障害者がいる先輩が後輩の子育てや活動を助けながら、親自身が社会や地域の中で子を育てる力を身につける場となっています。

もし周りに困っている親子がいらっしゃったら、ぜひ話を聞いて背中を押して、訓練会があることを教えてあげてください。

ひざり地区社会福祉協議会 ひざり助け合い ネットワーク

平成9年に区内で初めての地区社会福祉協議会福祉ネットワーク(身近な地域でのボランティア活動・相談)として発足しました。ちょっとした助けを必要としている高齢者や障害児・者、子育て世帯へ、住民同士による助け合い活動を実践しています。

成果は約16年間で延べ4,566回活動。利用する人もボランティアもお互いが感謝の気持ちでつながり、地域の大きな力になっています。



講師



室田 信一氏
首都大学東京都市教養学部
准教授

近年の雇用不安・家族形態の変化などから生きづらさを抱えた人々が増えています。また、人に何かをお願いすることにに対し極端に気を使う傾向や、ひとりを望む人が多くなっているとも言われています。これからのご近所同士のつながりは、意図的につながりづくりのきっかけをつくらないと成り立ちにくい(つながりづくりの社会化)、そんな時代になっています。

地域で活動する人物・グループ紹介 3

地域には様々な形、動機で活動している人たちがいます。

連載コラム

こうなん
この人に聞きました

男のセカンドライフ大学校 企画委員会



活動の様子

港南区役所・港南区社会福祉協議会・地域ケアプラザの共催で開催した男のセカンドライフ大学校「エンジョイ!! セカンドライフ」に参加したことをきっかけに、「せっかく集まったのだからこのままではもったいない!何かしよう」と集まった男性だけのグループです。

すでに自治会活動や民生委員児童委員、防災などの活動されている方もいらっしゃいますが、講座参加後に防災ライセンスリーダーになったり、ボランティアに参加したりと個々に活動されている方もいます。グループとしては、自分たちの健康も兼ねて「自分たちの街、港南区を知ろう」と区内をみんなでウォーキングしています。

また、皆さんの今までの経験を活かし、元航空整備士さんは「飛行機を直せるなら家電なんて簡単に直せちゃうよ。」、元IT関係の方は「私、ホームページ、メールリストを作ります。得意なんです。」など、それぞれが自身の特技、やりたいことを無理せず、地域のため、自分たちのために活動しています。

今後は楽しくウォーキングをしながら、平成27年度の男のセカンドライフ大学校の新たなメンバーを募集するため、企画を練り、港南区社会福祉協議会と一緒に大学校の運営を行っていく予定です。



スポーツクラブ ルネサンスにて体力測定と日頃できる体操を教えてもらいました。【講座2日目】



防災ライセンスリーダーの実技講座の様子。これをきっかけにライセンスリーダーとなった方がいます。【講座4日目】



園児たちの笑顔に
おじさま達の顔もゆるみっぱなし!
サンマを焼いて、一緒に食べたお礼に保育園児からハイタッチ!!【講座5日目】



今後の活動について真剣に話し合い
そして、すぐに実行⇒ウォーキングへ



ウォーキングの様子。鎌倉古道から久良岐公園へ(近所に住むメンバーがガイド役)